

旧本町中学校の記録と歴史的価値の検討

準会員○田山地春佳*1 正会員 辻原万規彦*2
正会員 今村 仁美*3 正会員 桑田 豪*4

9. 建築歴史・意匠-2. 日本近代建築史 建築歴史・意匠
廃校、天草市、天草海軍航空隊、千原組、ワークショップ

1. はじめに

近年、少子化による児童や生徒数の減少、市町村合併などの影響により廃校数が年々増加している。中でも熊本県は全国で6番目に廃校数が多く、市内の廃校数が0であるのに比べ、町村(郡部)に集中している¹⁾。

天草市の旧本渡市域に位置する旧本町中学校もその1つである。旧本町中学校の校舎は、第二次世界大戦中に設置された天草海軍航空隊の兵舎を移築したと言われている。本町中学校は昭和22(1947)年の学制改革を理由に、同年4月に天草郡本村中学校として創立され、昭和24年5月に校舎が建設された。この校舎は、熊本県内でも古い木造校舎とされ、天草に残る数少ない近代建築物であり、戦争遺跡であった²⁾。しかし、生徒数の減少と教育環境の充実のために、本町・本渡・佐伊津の三中学校が統合され、平成22(2010)年3月に閉校した。廃校後は、昭和40年代に建設された体育館が使用されているのみで、校舎は平成23年度中に取り壊しの予定である。

廃校になった学校の活用法に関する研究は多い³⁾が、「廃校になる学校をどう終わらせるか」についてはほとんど研究がされていない。そこで、本稿では、まず、旧本町中学校校舎の詳細な記録の作成について報告する。次いで、地域の方々を対象に、校舎の価値を再認識してもらうことを目的として開催したワークショップの概要を報告する。これらの取り組みを通して、「廃校になる学校をどう終わらせるか」を探りたい。

2. 旧本町中学校の概要

(1) 天草海軍航空隊について

昭和19(1944)年3月15日、博多海軍航空隊天草分遣隊が熊本県天草郡佐伊津村(現在の天草市佐伊津町)に開隊した。昭和20(1945)年3月1日、天草海軍航空隊として独立し、全59機の保有機を持つ特攻隊の発進基地となった。開隊時は、高台の上の庁舎も未だ工事

中であり、正面眼下の練兵場の向こうに2棟の兵舎と炊炊所、工作所があるのみだった。「隊の建設工事は施設部に依り、昼夜兼行懸命の突貫工事が行われ⁴⁾、昭和20年4月中旬には兵舎が落成し、士官室、医務関係も使用できるようになった。

図1に天草海軍航空隊の施設配置を示す。防衛省防衛研究所史料閲覧室所蔵『佐世保施設部管内施設位置図』(請求書番号:④陸上部隊43)中の「天草水上緊急戦備現況図」に、文献2)の「天草海軍航空隊基地鳥瞰図」(上中満作図)を参考にして施設名を書き込んだものである。北側にある兵舎が、旧本町中学校に移築されたと言われている。

(2) 旧本町中学校校舎の実測と復元

平成23(2011)年7月4日、10月6日、11月2日、11月15日に旧本町中学校校舎の実測を行った。実測図と文献5)、6)、7)などを元に、昭和24(1949)年5



図1 天草海軍航空隊の施設配置

月の建設当時の様子を復元し、図2に示す。

校舎は南に面して廊下が伸び、建設当時は教室が7室あったと考えられる。それぞれの教室の用途は不明であるが、少なくとも1室は図書館として利用された。また、東側に付属する便所も建設当時のものと考えられる。小屋組は洋小屋(キングポストラス)であった。建設当時は、正面玄関から運動場までは扉がなく、土間のままで通り抜けができた。しかし、昭和55(1980)年の廊下張り替えと玄関改修によって扉が取り付けられ、床が張られた。また、放送室や休憩室も増築され、木製サッシも一部が残っているのみでアルミサッシへと変わっている。しかし、全体としてみれば調査時点でも、建設当時の様子を良く保っていたと言える(図2中の現況写真を参照)。

(3) 旧本町中学校校舎の施工者

実測の際に確認できた棟札を写真1に示す。棟札から校舎の建築を請け負ったのは、千原組であること分かる。千原組の社長であった千原万五郎は、兄の種四郎のもとで大工として修業を積み、職人として働きな

がら、明治44(1911)年7月、県立熊本工等学校夜間部大工科講習を完了した⁸⁾。大正10(1921)年に土木建築請負業を創業し、昭和19年(1944)に、株式会社千原組と組織変更し、社長に就任した。大正10年から昭和25年にかけて、天草郡内はもちろん県内の主要建築工事、特に公共施設、学校新築増築工事、病院建築工事などは戦後数年まで千原万五郎(千原組)が手がけたものが多かった。

千原万五郎が請け負った天草教育会館⁹⁾、佐伊津小学校¹⁰⁾の棟札と本町中学校の棟札に記された職人を表1に示す。本町中学校の棟梁であった坂本と井上は、天草教育会館でも棟梁であり、佐伊津小学校では棟梁と大工であった。本町中学校の建設は、経験豊かな千原組配下の棟梁達によって指揮されたといえる。千原組では、大江小学校や天草中学校の建設を請け負っており、本町中学校校舎も、それまでの施工経験を活かして建設されたと考えられる。



写真1 棟札

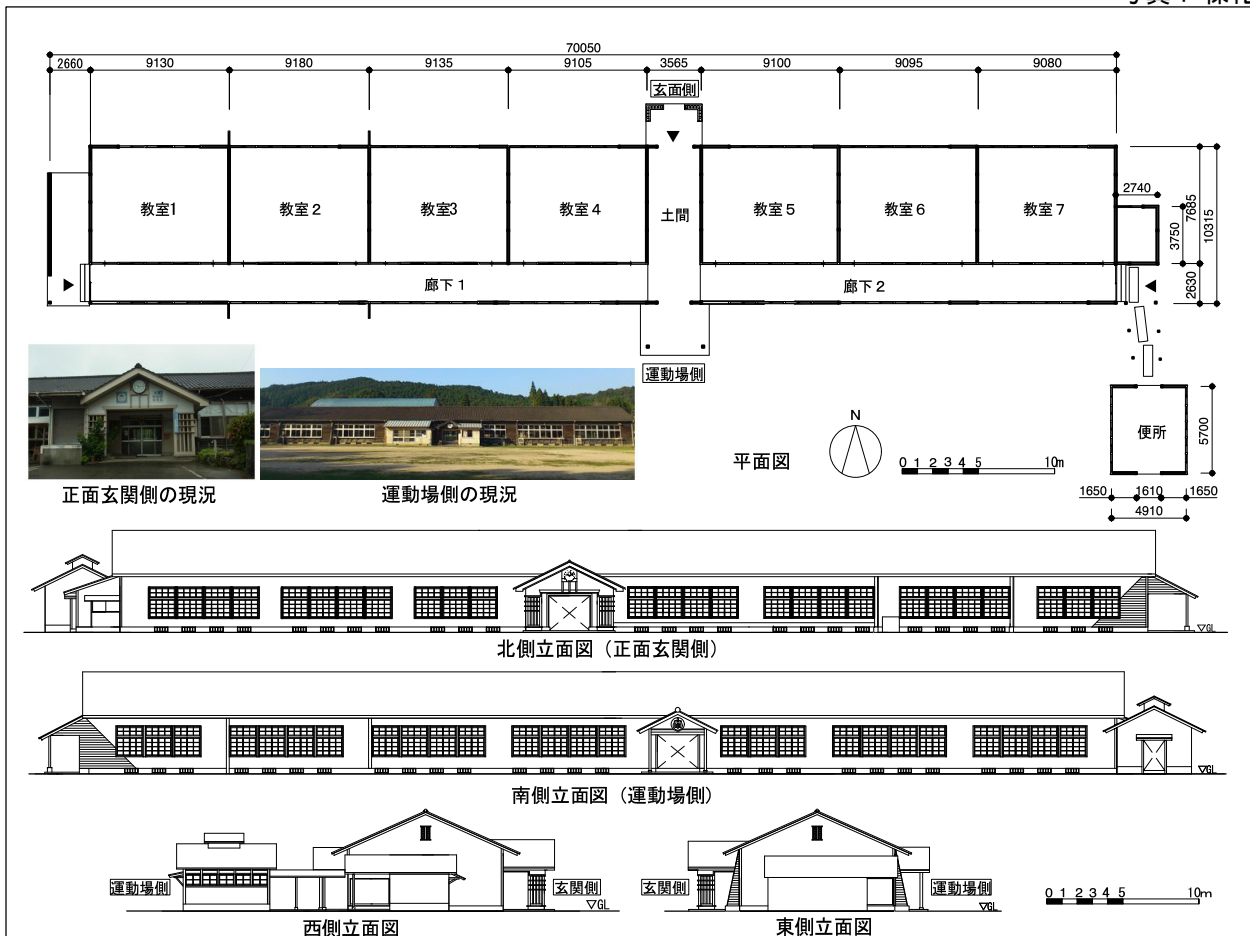


図2 旧本町中学校校舎の復元図

表2 ワークショップ当日のスケジュール

	現地集合・準備・確認
8:00	受付開始(体育館にて)
8:35	挨拶・説明・班分け(体育館にて)
8:45	学校探検
8:50	教室班・職員室班の2班に分かれ活動
	教室班…「手のひらのさしづくり」
	職員室班…「ショートムービー作り(学校編)」
9:55	廊下班…「廊下で遊ぼう！」(全員で)
	だるまさんが転んだ・ぞうきんがけりレーなど
10:15	玄関・廊下でタイトル・エンドロール撮影
10:30	模造紙にWSのタイトル・感想書き(以降は、体育館にて)
11:25	軽食
11:45	こども達を集めて模造紙発表+インタビュー
	WS時の写真をプレゼント
11:55	上映会・挨拶
12:00	解散



写真2 ワークショップの様子

(3) ワークショップの成果

ワークショップ参加者の感想とショートムービーのタイトルを表3に示す。感想で最も多かったのが「楽しかった!」という声だった。普段、学校の授業とは異なる内容である本ワークショップに対して、多くの参加者が興味を持ってくれた。「今ではあまり見ない木造校舎から昔の時代の雰囲気を感じることができた」という意見もあった。木造校舎の特徴である、縦横に広がる長い廊下や木製の窓も、こども達にとっては教科書を通して学ぶだけでなく、実際に手で触れ、感じることで今まで以上に理解を深めることが出来たと考えられる。また、ワークショップ終了後、作成した映像をもとに、地域の地区イベントなどで上映できるような5~10分程度のムービーを作成した。

表3 ワークショップ参加者の感想

場所	教室	職員室	廊下
タイトル	「ありがとう~思い出の教室~」	「先生は18才」	「DASH」
感想	・本町中で先生や先輩、友達と過ごした日々が思い出され懐かしかった ・身体ものさしで寸法が測れることが分かった ・楽しかった ・木造校舎に通ってみたいになった	・大人の方達の思い出話を楽しそうだった ・全部木で作られていて、昔の雰囲気を味わえた ・職員室が思ったよりも小さく机なども少なくてびっくりした ・大人な気分を味わえて良かった	・普段は走れない廊下を全力でダッシュできたのが楽しかった ・久しぶりに運動した ・木造校舎は大正時代を感じた ・学校内でのカメラ撮影は新鮮だった

*1: 熊本県立大学環境共生学部居住環境学科
 *2: 熊本県立大学環境共生学部 准教授・博士(工学)
 *3: アトリエ イマージュ
 *4: 熊本県立大学環境共生学部 准教授・修士(工学)

4. まとめ

廃校になった旧本町中学校の校舎のできるだけ詳細な記録を残すことと、地域の方々に校舎の価値を再認識してもらい記憶に残すことを目的に、校舎の実測とワークショップを行った。

その結果、以下のことが分かった。

- ① 本町中学校校舎は、千原組の請負工事であった。
- ② 従来、天草海軍航空隊の兵舎が移築されたと言われてきたが、そのまま移築された可能性は低い。
- ③ 兵舎などの材を転用して建設された可能性が高い。
- ④ ワークショップによって、地域の人々と本町中学校での思い出を作ることができ、映像も残すことができた。

廃校になった学校の利活用だけでなく、校舎の歴史や背景を知り、後世へ記録として残していくことが必要である。昭和22年創立以来、63年間にも亘り歴史を刻んできた旧本町中学校に対しても終わりを共にできたことが本研究での一番の成果だった。

謝辞 天草市教育委員会 文化財保護係の福本英樹様、祓輪麻由様、天草市本町公民館の有馬将文様、天草市立本渡歴史民俗資料館の本多康二様、天草アーカイブズ、防衛省防衛研究所史料閲覧室の皆様のご協力を頂きました。ここに記して謝意を表します。本研究は、平成23年度熊本県立大学 地域貢献研究事業による。

注

- 1) 熊本県教育委員会によって行われた廃校実績調査(平成14年度~平成22年度)による。
- 2) 熊本の戦争遺跡研究会:熊本の戦争遺跡、創想舎、2010.12
- 3) 例えば、斎尾直子:公立小中学校の統廃合プロセスと廃合舎利活用に関する研究-茨城県過去30年間全廃校事例の実態把握と農山村地域への影響-、日本建築学会計画系論文集、E-2、pp.1001-1006、2008.5
- 4) 河村正之:天草海軍航空隊回想記(天空始末記)、天空(天草海軍航空隊の追憶の葉)、第3号、pp.3~10、1973.8
- 5) 本町中学校閉校記念事業実行委員会:本町中学校閉校記念誌「清流」、本町中学校閉校記念事業実行委員会、2010.3
- 6) 本町の歴史編纂委員会:本町の歴史、本渡市本町公民館、2006.3
- 7) 天草アーカイブズ所蔵の『本渡市立本町中学校アルバム』(昭和30年頃のもと推定)
- 8) 千原万五郎に関する以下の記述は、次の文献による。
天草地区建設業協会:天草建設文化史、天草地区建設業協会、1978.5
- 9) 東坂尚美:熊本県の近代建築に関する研究-天草教育会館について-、平成12年度熊本大学工学部卒業論文
- 10) 本渡歴史民俗資料館所蔵

Student, Prefectural University of Kumamoto
 Assoc. Prof., Prefectural University of Kumamoto, Dr. Eng.
 Atelier Image
 Assoc. Prof., Prefectural University of Kumamoto, M. Eng.